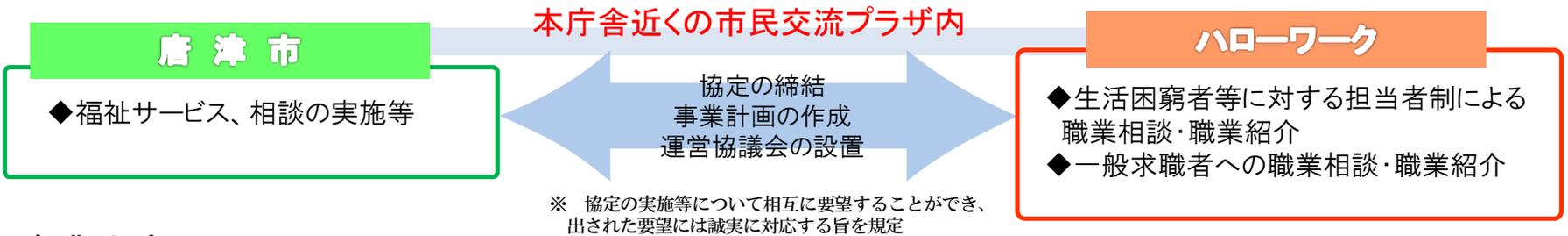


唐津市(佐賀県)の一体的実施事業 (愛称: **CoCoカラ**)

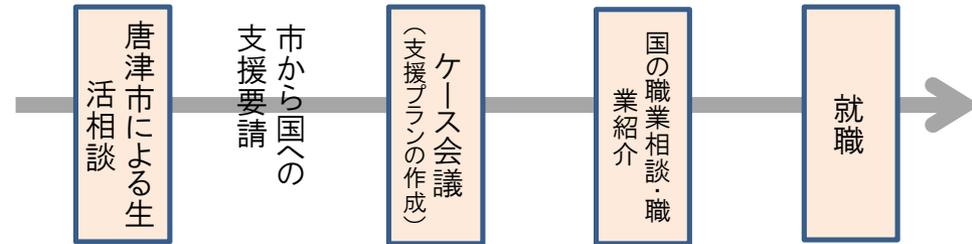
- 生活保護受給者・児童扶養手当受給者等の担当課の窓口利用者及び生活自立支援センター利用者等を市役所近くの市民交流プラザ内のハローワーク窓口へ誘導し、ワンストップでの就職支援を実施。
- また、来所される一般求職者に対し職業相談・職業紹介を実施。



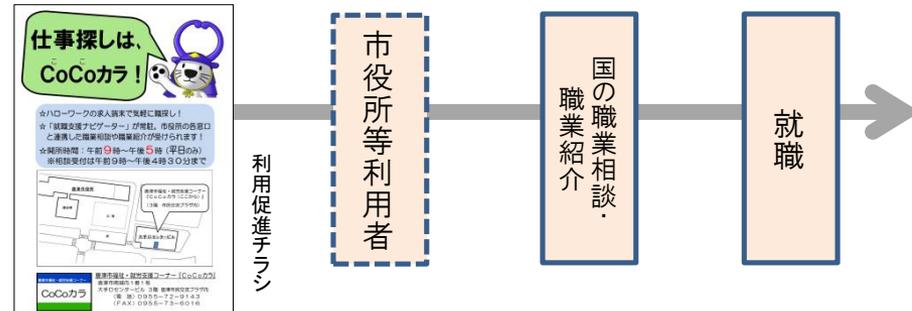
事業内容

- ◆生活保護受給者・母子(父子)家庭の母(父)、生活自立支援センター利用者等の福祉サービス対象者及び一般求職者を対象。
- ◆市の就労相談員や母子・父子自立支援員による生活保護受給者、児童扶養手当等に対する相談・支援。
- ◆ハローワークによる担当者制・予約制による職業相談・職業紹介。
- ◆市の就労相談員等とハローワークの就職支援ナビゲーターにより組織された唐津市福祉・就労支援チームによる就労支援。

(生活保護受給者等の福祉サービス対象者への支援)



(一般求職者への支援)



成果を上げるためにやっていること

- ◆**定期的な打ち合わせ**の実施(事業の進捗状況、実施上の問題点、目標達成のための課題等)。
- ◆ハローワークが行う職業相談の中で必要に応じて、市がハローワークに**支援者の生活状況等について情報提供や支援方法についてアドバイス**。
- ◆**各市民センターでの巡回相談**の実施
- ◆**利用促進チラシ**の作成と掲示



(1) 実施体制

市

- ・生活支援課 就労相談支援員 2名
- ・生活自立支援センター 就労支援員 1名
- ・こども家庭課 母子・父子自立支援員 2名

国

- ・就職支援ナビゲーター2名
- ・求人情報提供端末 2台
- ・職業紹介端末 2台

(2) 事業目標と取組状況

	令和6年度事業目標	取組状況(令和7年3月末時点)
就職率	◇37.0%	◇42.7%
生活困窮者に対する支援	◇支援対象者数:80人 ◇就労・就職目標:55人 ◇公的職業訓練受講者数:6人 ◇訓練受講者の就労・就職者数:4人	◇支援対象者数:88人 ◇就労・就職者数:76人 ◇公的職業訓練受講者数:4人 ◇訓練受講者の就労・就職者数:5人
一般求職者に対する支援	◇新規求職者数:250人 ◇就職目標:120人	◇新規求職者数:214人 ◇就職者数:100人
市から福祉・就労支援コーナーへの支援要請	◇支援要請者数:40人	◇支援要請者数:41人
就労支援コーナーの新規求職者のうち、生活保護受給者、母子・父子家庭の母・父及び生活自立支援センター利用者(生活困窮者として誘導された者に限る)の割合	◇割合:50.0%以上	◇左記対象者の割合:44.7%

一体的実施によるきめ細かな支援「C○C○カラ」



唐津市長 峰 達 郎

「唐津市福祉・就労支援コーナー」（愛称：C○C○カラ）が、大手口センタービル3階唐津市民交流プラザ内に平成27年10月1日にオープンしました。

「C○C○カラ」では、ハローワーク唐津の就職支援ナビゲーターと、唐津市生活保護課の生活保護受給者就労相談員、子育て支援課の母子・父子自立支援員、生活自立支援センターの就労相談員等が、一体となって職業相談及び職業紹介を行う施設です。

唐津市役所とハローワーク唐津との物理的な距離という課題を解決し、両者が一体となって、情報を共有化し、生活保護受給者や母子・父子家庭等の支援対象者に、よりきめ細かな就労支援を実現できる場所となっております。

この「C○C○カラ（ここから）」という愛称は、この支援コーナーが、多くの利用者が新たな生活のスタートをここから始めることができ、市民の方々に親しまれる場所になることを願って決定いたしました。

今後もハローワーク唐津と連携し、市役所を訪れる支援対象者のひとりでも多くの方々が早期就労につながるよう、市としても全力をあげて支援して参ります。

一体的実施事業による就職成功例

男性：Aさんの場合（50代）

○ 本人の状況・背景

・母親死去により単身。・約20年就労なく引きこもり状態ではあったが、1回目の自立サポート事業（※1）で数日間の短期アルバイト就労をしたことで以前より就労意欲は高い。・真面目な性格で生活リズム、生活環境は整っている。

① 抱える課題

- ・引きこもり期間が長くコミュニケーション能力が低い。人間関係構築が苦手。社会性に欠けるところがある。
- ・体調面に関しての不安がある。・拘りが強い。自己理解不足もあり、職種が定まらず、なかなか応募に至らない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・生活自立支援センターより、自立サポート事業支援要請あり。今回で2回目の自立サポート事業対象者としての支援となる。
- ・経験のある配送関係希望とのことで、希望にできるだけ近い求人での相談を進めていくが、本人からPC訓練受講することで職種の幅を広げたいと職業訓練希望あり、3ヶ月間の訓練受講。
- ・職業訓練受講中も求人情報提供をしたり、就労意欲を切らさないように生活自立支援センター担当者同席による定期的な相談を実施。生活面での困り事、体調面なども確認し、無理のない範囲から自立に向けて就労していくこと意識付けを行う。
- ・訓練終了後、就職が可能な状況になったにも関わらず、就労への不安から求人応募に対して消極的。職場の人間関係が不安で前に進めないとのことで、不安を払拭すべく、今までの人間関係について傾聴し一緒に考え、アドバイスを行う。
- ・PC訓練受講しPC業務が含まれる仕事を希望したいとのことではあったが、職業相談を進めてく中で当初からの経験ある配送関係希望あり、パート配送求人へ応募し採用。
- ・採用後のフォローアップでは、生き生きした表情から、仕事をすることで充実した生活を送っていることが感じられる。仕事、体調面、人間関係も良好である様子。
- ・2回目の自立サポートとなり長期間の支援となったが、本人の状況や気持ちを尊重し寄り添うことにより信頼関係を築けたこと、短期アルバイト、訓練受講での訓練生との関わりや資格取得も自信となり就職へ繋がった。今後、フォローアップ継続予定。

③ 結果 運送会社にてパート採用。配送員として現在も就労継続中。※就職までのチーム支援期間：9ヶ月

（※1）自立サポート事業…「生活保護受給者等就労自立促進事業」の佐賀局独自の愛称